

やすらぎ通信

第36号 (平成25年11月1日) 発行：大阪府立急性期・総合医療センター

霜月(しもつき)

旅 愁

Dreaming of Home and Mother

作詞 犬童球溪 作曲 オードウェイ

更け行く秋の夜 旅の空の
わびしき思いに ひとりなやむ
恋しやふるさと なつかし父母(ちちはは)
夢路にたどるは 故郷(ふるさと)の家路
更け行く秋の夜 旅の空の
わびしき思いに ひとりなやむ

窓うつ嵐(あらし)に 夢もやぶれ
遥けき彼方(かなた)に ころろ迷う
恋しやふるさと なつかし父母(ちちはは)
思いに浮かぶは 杜(もり)のこずえ
窓うつ嵐(あらし)に 夢もやぶれ
遥けき彼方(かなた)に ころろ迷う

11月の和名は「霜月」。語源はまさにそのまま霜降り月（しもふりづき）が略されたとする説がもっとも有力とされており、早くも寒さの予兆を感じさせられます。また、毎月紹介しています「季節のことば36選」、今月は「木枯（こがらし）1号、七五三、時雨（しぐれ）」で、七五三を除けばこれまた冬の到来を強く想起させています。今年の立冬は11月7日、気がつけば冬はもうすぐ傍まで来ています。

今年も残すところあと二月となりました。元旦の頃には今年こそはと、胸に秘かに或いは人によっては書初めにまでしたための決意は成し遂げられそうでしょうか。私などはそれ以前に、この時期になっては何をしようとしていたかさえ忘れてしまっていて情けない限りです。まさに後悔先に立たずという言葉どおりです。

今月の歌は、「旅愁」です。旅愁の意味は、旅行中に感じる物寂しさのことで、この歌はアメリカの音楽家ジョン・P・オードウェイによる”Dreaming of Home and Mother(家と母を夢見て)”という楽曲に日本の詩人犬童球溪が詞を訳した翻訳唱歌です。犬童は熊本県人吉市生まれで苦学して東京音楽学校を卒業後、音楽教師として各地を転々とし新潟に勤務していた時に故郷を遠く離れた自分の心情を重ね合わせてこの歌の訳詩をしたといわれています。

深まりいく秋の夜に故郷を想う物悲しい雰囲気のある歌曲が日本人の心にしみじみと響くのか、文化庁と日本PTA全国協議会が選定した「日本の歌100選」にも選ばれています。

すっかり日本の歌として定着しているこの歌ですが、このように歌い継がれているのは、今の時代になっても続く自分が育った故郷や育ててくれた父母に対する日本人の感謝や慈しみの心情が脈々と続いているからではと思えます。私たちが生きていく中では、この歌のように「ひとりなやむ」「こころ迷う」ことが多々あります。そのような時にすべてを受け入れてくれそうな故郷と父母に一時思いを寄せ、弱音を吐き、やがて心を落ち着かせ、また元気になった頃にこそ会いに帰ろうという希望を見出し、翌日元気に街に行くことがあるのではないのでしょうか。確かに、寂しい歌ではありますが深いやすらぎと小さな希望がこめられているように感じられます。皆さんは如何でしょうか？



先月初め、次々にノーベル賞の発表がなされました。今年は文学賞に期待されていた村上春樹氏を始め日本人の受賞者はなく、少し残念な結果でした。そのような中で、10月8日に発表された物理学賞では本命の本命といわれていたヒッグス粒子の存在を理論的に予

想した二人の物理学者に賞が与えられました。

私は理系音痴で現代物理学だ、素粒子だといわれても???の状態ですっぱりわからないことだらけですが、新聞などの論調では「世紀の大発見」とか「神の粒子の存在を証明」などたいそうな形容詞で表現されているところから見ると大変な発見だったのでしょう。

新聞に書いてあることを簡単にまとめると、宇宙が誕生したビッグバンの瞬間にはモノ(素粒子)には質量が無く光の速度でそれらは飛び回っていたが、ビッグバンの1千億分の1秒後に宇宙の温度が急速に下がり性質が変わってモノが動きにくくなり質量が生まれ物質となり、今の物質に満ち溢れた宇宙になった。その動きにくくすることによってモノに質量を与えたのが今回のヒッグス粒子で、これがないと物質で出来ている星も水も植物、動物、犬・猫そして私たちも存在しなかったという、とんでもない粒子ということだそうです。

でも、やっぱりまだわかりませんよね。私もよくわかりません。何かで読んだたとえ話でいうと、女性ばかりがぎっしりいるパーティー会場を、とてももてるA君とちょっともてるB君と残念ながら人気の無いC君がその中を通り抜ける時に、C君はすいすい進んでいけるのにB君はそこそこ声をかけられゆっくり進み、A君にいたっては人ばかりがしてなかなか進めない、この進めないことが質量となるということだそうです。ちなみにこの時の女性陣がヒッグス粒子ということになります(A君、B君、C君は光子や電子などのいろいろな素粒子をあらわします)。

いずれにしても、たいそうな発見ですがどうも今日、明日の私たちの生活に関係しそうな話ではないようです。むしろ素晴らしく美しく映るテレビを作ったとか省エネルギーの自動車が開発されたとかの発表のほうが身近でわかりやすく生活の向上にすぐに役立ちそうに思えます。また、事実そうでしょう。宇宙の成り立ちを知らなくても毎日暮らしていけるのですから。

でも、何故なのだろうという疑問が今までの私たち人類の発展を支え続けてきたことを否定することは出来ません。鳥はなぜ飛ぶのだろう、羽をつけて崖から飛び降りて亡くなった人がいてやがて人は飛行機で空を飛ぶことが出来るようになりました。謎に迫り、不思議を追い求めたいという本能的な人間の探究心、ひらたく言えば欲望を大切に育てることが子孫に対する大きな贈り物になるのではないのでしょうか。

また、素朴に疑問を持ち、答えを知りたいという気持ちを特に持つのは子どもたちです。子どもが思う日々の疑問はある意味で根源的な問題が多く、ちょっと物知りの大人にしても答えることの出来ない問いを時に投げかけてきます。ひょっとすると一番身近な研究者は私たちのそばにいる子どもたちかもしれません。そのような時は、その「なぜなぜ」を面倒がらずに聞いてやり、知っていることは丁寧に答えて、わからないことはなぜだろうねえと一緒に考えてみるのが大切なのではないのでしょうか。秋の夜長、親子ともどもそんなことを考えながら過ごすことによって良き家族の関係にも、あるいは将来の日本人ノーベル賞学者の誕生にもつながるかもしれません。

11月1日から7日までは教育・文化週間です。学問の秋を楽しみましょう。

【～地域の医療機関の皆様へ～ 摂食嚥下専門外来について】

摂食嚥下専門外来は、地域の先生方が摂食嚥下障害の専門的評価や指導、治療が必要とされる時に、ご利用いただく専門外来です。外来は耳鼻咽喉科医と摂食・嚥下障害看護認定看護師を中心に必要に応じ多職種も交えて対応し、紹介患者様の継続診療が可能となるように総合的な介入を行います。従来から、大阪府下やさらに大阪府周辺地域の総合病院やリハビリテーション病院からの摂食嚥下障害への外科的治療（嚥下機能改善手術、喉頭気管分離や声門閉鎖術といった誤嚥防止術）に関する相談や実際の手術も積極的に受けており、必要な患者様には手術対応も可能です。

当専門外来での診察は、車いすや寝たきりの方も、適切に評価や指導を行えるようベッド上で診察を行う体制を整えました。そのような十分な診療体制のもと、嚥下障害と咽頭・喉頭・気管を専門とする耳鼻咽喉科専門医が嚥下内視鏡検査を行い、さらに必要な患者様には嚥下造影検査を行い総合的な評価を行います。その上で、患者様の環境や全身状態に応じて適切な指導を行いたいと考えます。

嚥下障害の診察には十分な診察時間とさまざまな情報が必要のため、完全予約制で主治医からの紹介状と主たる介護者の同伴をお願いしております（診察日 金曜日 14時30分）。今後はさらに大阪の地域医療に貢献できる摂食嚥下専門チームとして力を尽くしていく所存ですので、何卒よろしく願いいたします。

耳鼻咽喉科主任部長 坂田義治

【無痛分娩（和痛分娩）を開始しました ―産婦人科―】

当センターではこれまでから医学的に必要性のある方にのみ無痛分娩を行ってまいりましたが、このたび、妊婦さん自身のご希望による無痛分娩を開始いたしました。

当センターでは、より安全で、よいお産をしていただくために、産科医、助産師、新生児科医だけでなく、麻酔科をはじめとして、各診療科の協力を得て、妊娠分娩の管理にあたっております。妊婦さん自身が考えられるよりよいお産のために我々が何をできるかについて、是非ご相談ください。

無痛分娩は、硬膜外麻酔法によって分娩に伴う痛みを和らげる方法です。和痛分娩とも言い、分娩に伴う痛みがまったくなくなるわけではありませんが、痛みを大幅に和らげながら経膈分娩を行う方法です。

硬膜外麻酔法は、細くて柔らかいチューブを背中から腰の脊髄近く（硬膜外腔）に入れて、そこから鎮痛薬を少量ずつ注入することで行います。神経の近くに鎮痛薬を入れることから、使用する鎮痛薬の量は少量で、赤ちゃんに対する影響はほとんどありません。

日本ではまだ一般的とはいえませんが、欧米では広く実施されており、アメリカやフランスでは、全分娩の約6割が硬膜外無痛分娩によって行われています。

これまで、無痛分娩を希望される方でも、費用の面で不安を感じられる方が多かったことを考慮して、当センターでは、無痛分娩の分娩費用を約 53 万円の定額制としておりますので、安心してご相談ください。ただし、保険診療の適応となるような医学的処置を行った場合を除きます。

【シリコンバッグによる乳房再建が保険適用になりました】

今年7月より、従来自費診療であったシリコンバッグによる乳房再建が保険適用になりました。

今回、皮膚を伸ばす目的で挿入する「ティッシュ・エキスパンダー」というシリコン製のバッグと、最終的に乳房の形をつくる「ブレストシリコンバッグ」というゲル入りシリコンバッグの両方が保険用医療機器として認可されました。

それにより、従来は自費でしか治療できなかったシリコンバッグによる乳房再建が入院費や手術代を含め、すべて保険診療でまかなえる様になりました。(但し、一部の形のシリコンバッグは保険適応外)

自家組織による乳房再建と比べると、自分の体を傷つけることなく再建が可能で、万が一の場合に抜去することも可能です。

当センターでは、シリコンバッグによる乳房再建以外にも患者さんのニーズに合わせた多種多様な再建法が選択していただけるようなシステムを取っておりますので、是非お気軽にご相談ください。

形成外科主任部長 藤川昌和

【～地域の医療機関の皆様へ～ 硝子体手術について】

7月1日付けで御手洗慶一医師が当センター眼科医長として着任致しました。前職にて硝子体手術を研鑽し、この卓越した技術を持って当科に赴任しました。

網膜硝子体疾患は光の受容器官である網膜が障害されるため、失明に至る重篤な患者も多く、その治療は視力予後に直接影響します。疾患の病態を十分に理解した上で適切な処置を施行すれば、劇的な効果が得られる極めて有用な治療法でもあります。

急性期病院として長年にわたり硝子体手術に十分に対応できないことを心苦しく思ってきましたが、今後はこの分野でも先生方のお役にたてればと考えております。従来の白内障、緑内障、加齢黄斑変性はもちろんのこと硝子体手術も含めて幅広く診察していきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

眼科主任部長 内堀恭孝

【薬局からのお知らせです】

院外処方せんについて

当センターでは、外来患者さんのお薬は原則として「院外処方せん」を発行しております。「院外処方せん」は、ご自宅や勤務先近くの『保険薬局』で調剤してもらえます。

かかりつけの薬局を決めておくと、処方されたお薬の内容の記録（これを「薬歴」といいます）を保存し、当センターで処方されたお薬だけでなくほかの医療機関で処方されたお薬や市販薬に至るまで患者さんの薬歴を総合的に管理し、お薬の重複や相互作用をチェックすることができるので、より一層安全なお薬の使用が期待できます。また、「サプリメント（いわゆる健康食品）」のなかには、医薬品との相互作用を発現するものも多くありますので、服用しているサプリメントについても「かかりつけ薬局」の薬剤師にお伝えください。

薬局窓口横には、(社)大阪府薬剤師会の「院外処方せん相談窓口（ファクシミリコーナー）」が開設されており、患者さんにとって最適な保険薬局の紹介やかかりつけ薬局への処方せんの FAX 送信、その他院外処方せんに関する様々なご相談に薬剤師会のスタッフが応じています。

お薬手帳について

患者さんに処方されたお薬の名前や飲む量、回数、飲み方、注意することなどを記録するための手帳です。病院・診療所、歯科医院、薬局では、必ずお薬手帳を見せましょう。同じお薬が重なっていないか、不都合な組み合わせ等についての確認ができます。

災害、事故、旅先での容体の急変など、緊急の場合にも医師の判断に役立ちます。常に携帯しておきましょう。お薬手帳は、どの医療機関・薬局でも使えます。1冊にまとめましょう。

【～地域の医療機関の皆様へ～

肺癌術後地域連携クリティカルパスの紹介 ー呼吸器外科ー

クリティカルパスとは、その病気の平均的な臨床経過を予測して、ベストと考えられる診療の計画がなされ、その計画に患者さんが納得いただいた上で、医療関係者が共同して診療を行うシステムです。地域連携クリティカルパスでは、地域医療機関（かかりつけ医）と当院との間で、患者さんの医療情報と治療方針を共有しますので、より良い共同診療体制を構築できる可能性があります。

ユーエフティ（UFT）内服による肺癌術後化学療法

呼吸器外科で扱う疾患のうちもっとも多いのが原発性肺癌です。腫瘍径が 2cm 以上の stage I a または stage I b に対する術後補助化学療法としては、UFT 内服による化学療法が日本肺癌学会作成のガイドラインでもグレード B として推奨されています。ユーエフティ(UFT)は発売後 25 年が経過しており、その外来投与の管理ノウハウは十分に確立されております。また、内服期間は 2 年間という長期間の設定で、その間の治療効果の評価は 3—6 ヶ月毎となっています。期間設定の点からも、地域医療機関（かかりつけ医）の先生方との間で共同診療を行うことが可能と思われます。

地域連携クリティカルパスについての具体的なイメージを得ることは難しいですが、最終的には上記のようなクリティカルパスを利用することで病診連携を充実する

ことができると考えております。よろしくお申し上げます。

呼吸器外科部長 大森謙一

【「医療相談」コールセンターのご利用を ―地域医療連携室―】

患者さんやご家族などからの医療や病院利用に関するご相談を、専門の看護師が電話で
ご相談に応じさせていただく「医療相談」コールセンターを開設運用しております。是非お気軽
にご利用ください。

電話番号は 06-6692-2800 (専用電話回線)

06-6692-2801 (専用電話回線)

相談日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

相談対象 医療相談を希望されるご本人若しくはご家族等

相談員 看護師

【診察予約変更センター 9診療科において診察の予約日・時間の変更を電話で 受け付けています！】

当センターでは、下記の9診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができる
よう「診察予約変更センター」を設置しています。是非、積極的にご活用くださ
い。なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意ください
ますようお願いいたします。

(電話番号) 06-6692-1201(代表)にダイヤルして

「予約変更センター」と言ってください。

(受付時間) 午後3時～午後5時(平日のみ)

(対象診療科) 呼吸器内科 消化器内科 糖尿病代謝内科

皮膚科 形成外科 腎臓・高血圧内科

神経内科 脳神経外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

【入院治療費や外来での検査費用の概算を予めお知らせするサービスをしています】

当センターにおきましては、入院患者さんへのサポートを総合的・集約的に行う入
院センター(やすらぎセンター)におきまして、ご入院申し込み時に予め標準的な治
療を行った場合の概算費用をお知らせするサービスを行っています。

また、CT、MRI、RI、エコー検査など検査費用の概算を医療・福祉相談コーナーな
どでお知らせするサービスも行っていきます。

今月の催し

【平成25年第2回リウマチ教室】

- 日 時 11月5日(火) 午後2時～4時
場 所 本館3階 保健教室
プログラム 1 最新の関節リウマチ治療(免疫リウマチ科主任部長、
関節リウマチ・バイオサポートセンター長 藤原弘士)
2 医療費助成制度(医療ソーシャルワーカー 松尾こずえ)
3 リウマチ患者さんへの日常生活指導(看護師 小山富美子)
参加費 無料

【第5回肝臓病教室「肝硬変・肝臓がんにならないためには？」】

- 日 時 11月9日(土) 午前10時～12時
場 所 本館3階 講堂
内 容 1 肝硬変・肝臓がんにならないためには？
～B型・C型肝炎との関係～
(消化器内科主任部長 井上敦雄)
2 肝硬変・肝臓がんにならないためには？ ～飲酒と肥満との関係～
(消化器内科副部長 春名能道)
3 B型・C型肝炎の治療薬について(薬局薬剤師 鎌田宏和)
4 肝臓病と食事(栄養管理室管理栄養士 織田 都)
参加費 無料
※ 9時30分より講演開始まで体脂肪測定を実施します。

【相愛大学連携 第31回外来糖尿病教室

知って得する！ 糖尿病との付き合い方】

- 日 時 11月14日(木) 午後2時～
場 所 本館1階 アトリウム
内 容 今日の世界糖尿病デー！ (糖尿病代謝内科主任部長 馬屋原 豊)
インスリンのあれこれ (薬局薬剤師 的場美香)
コンビニ活用術 (栄養管理室管理栄養士 笠井香織)
参加費 無料

【すこやかセミナー「脳卒中」】

- 日 時 11月14日(木) 午後2時～3時

場 所 本館3階 保健教室
講 師 脳神経外科医長 乾 登史孝
参加費 無料

【(新) 糖尿病予防セミナー～世界糖尿病デー関連行事～】

日 時 11月16日(土) 午後1時30分～4時
場 所 本館3階 講堂
内 容 ミニ講義(入れ替え制) 1部13:30～15:00 2部15:00～16:00

- あなたは糖尿病ではないですか?
～増え続ける糖尿病の問題点とその予防法～
- 糖尿病予防のキーワードは食事バランス!
～バランスのよい食事とは～

府立急性期・総合医療センター

糖尿病代謝内科主任部長(医師) 馬屋原 豊
栄養管理室長(管理栄養士) 山根泰子
栄養管理室(管理栄養士) 織田 都

相愛大学

教授(管理栄養士) 爲房恭子
准教授(管理栄養士) 竹山育子

相愛大学学生と教員が考えた体験学習コーナー(入れ替え制)

1部13:30～15:00 2部15:00～16:00

- 食育SATシステムによる食事診断
- 血糖値測定 ○ 体脂肪測定 ○ 野菜コーナー
- 食事バランスクイズラリー
- 糖尿病を予防する食事(学生が考えたバランスのよいレシピ集)
- 糖尿病予防最近の話題紹介コーナー

参加費 無料(ただし、先着200名になり次第締め切り)

※ お申し込みは、府立急性期・総合医療センターへ電話(Tel. 06-6692-2222)または当ホームページからお願いします。

受付期間は10月1日～11月12日(受付時間は平日9時～17時)です。

【すこやかセミナー】

「アンチエイジング～かわいく!かっこよく!マイナス10歳～」

日 時 11月22日(金) 午前11時～12時

場 所 本館3階 保健教室
講 師 薬局長 室井政子
参加費 無料

【第18回万代・夢寄席～演芸の秋、講談の秋 旭堂小二三講談の会～】

日 時 11月26日(火) 午後2時～
場 所 本館3階 講堂
出 演 講談師 旭堂小二三
入 場 無料

**【第10回病院ギャラリー企画展 「日本庭園の美」
岩宮武二写真展 “宮廷の庭 シリーズより” 】**

岩宮武二は1920年に鳥取県米子市に生まれ89年に没するまで、「今を生きる」を座右の銘に、今、現在生きていることを意識し、過去から現在、未来へと続いていく事象や形を豊かな感性で見つめる写真家として活動しました。

今回は第9回に引き続き岩宮武二写真展の第2弾として、日本の美の象徴として京都にある3つの名園を27枚の写真に収めた作品群を展示します。

(本企画展は、大阪府江之子島文化芸術創造センターのご協力を得て実施しています。)

開催期間 2013年8月26日(月)～12月20日(金)
展示場所 本館2階 病院ギャラリー
展示作品 宮廷の庭シリーズ 27枚 (仙洞御所、桂離宮、修学院離宮)

【(予告) すこやかセミナー「冬場の感染対策」】

日 時 12月12日(木) 午後2時～3時
場 所 本館3階 保健教室
講 師 感染管理認定看護師 扇田千代
参加費 無料

【(予告) 府民公開講座「糖尿病と透析のお話」】

日 時 12月14日(土) 午後1時30分～3時
場 所 本館3階 講堂
内 容 講演1 あなたとあなたの大切な人のために、HbA1c7%未満を目指
しましょう (糖尿病代謝内科主任部長 馬屋原 豊)
講演2 糖尿病性腎症から透析にならないために今すべきこと
(腎臓・高血圧内科主任部長 林 晃正)

【(予告) 相愛大学連携 第 32 回外来糖尿病教室

知って得する！ 糖尿病との付き合い方】

日 時 12月17日(火) 午後2時～
 場 所 本館1階 アトリウム
 内 容 糖尿病教育入院の流れ (糖尿病代謝内科副部長 畑崎聖弘)
 検査のお話 (臨床検査科臨床検査技師 谷 恵里子)
 年末・年始の注意ポイント (栄養管理室管理栄養士 笠井香織)
 参加費 無料

【(予告) 第 29 回相愛大学連携コンサート～弦楽四重奏～】

日 時 12月19日(木) 午後2時～
 場 所 本館3階 講堂
 出 演 未定
 入場料 無料

Topics



【(新) 管理栄養士のコーナー～ちょっとおいしい話～】



鮭は産卵のため川に戻ってくる秋から冬にかけて一番脂がのっておいしく、まさにこれから旬を迎えます。

和食ならシンプルに塩焼き、洋食ならムニエルや秋のじゃがいもやきのこを使ったシチュー、というように様々な料理に使えます。

今回は、『野菜たっぷり鮭の南蛮漬け』をご紹介します。揚げずに作るのでエネルギー控えめでヘルシーに、また、酢を使うことで塩分もおさえることができます。

《材料》	(1人分)	(2人分)	
鮭	一切れ 80 g	二切れ 160 g	
小麦粉	少々	少々	
サラダ油	少々	少々	
A {	酢	大さじ 2 杯	大さじ 4 杯
	だし汁	大さじ 2 杯	大さじ 4 杯
	砂糖	小さじ 1 杯	小さじ 2 杯
	醤油	小さじ 1 杯	小さじ 2 杯
	唐辛子	少々	少々



玉ねぎ	30 g	60 g
にんじん	20 g	40 g
ねぎ	10 g	20 g

(1人分) エネルギー：190kcal たんぱく質：19.1g 脂質 6.4g 食塩相当量：1.2g

- ① 鮭は一口大に切り、小麦粉をまぶします。フライパンに油を薄く引き、こんがり
と焼きます。
- ② Aを合わせ、①を加えます。
- ③ 玉ねぎは薄切りに、にんじんは千切りにします。それぞれ水にさらした後、水気
を切っておきます。
- ④ ②と③を合わせ、小口切りにしたねぎを散らしたらできあがり！

栄養管理室 管理栄養士 織田 都

今月のひまわりさん

各種窓口でセンターご利用のお手伝いをさせていただいている医
事事務委託会社ソラストの窓口担当を紹介させていただくコーナー
です。

【(新) 病棟クラーク担当 伊藤さんの巻】

私は今、病棟クラークとして勤務しています。病棟クラークは患者様が入院されてから退院されるまでの事務的な手続きを中心とした仕事をしています。例えば、入院された日のお部屋の案内、食事や問診票の入力、他科診察や検査の確認、面会者の確認、カルテの管理などここには書ききれない程たくさんの業務があります。

また患者様のご家族とも会話をする機会が多く、ご家族のちょっとした質問や疑問であってもその問題が少しでも早く解決できるように、私たちがコミュニケーションを取り先生や看護師さんとのパイプ役となれるよう努力しています。

患者様の中にはたびたび入院される方も多く入院予定の中にお名前を見つけると“すっ”とお顔が思い浮かび、体調が心配になる事があります。また長期間入院されている患者様とは顔見知りになり、お部屋に精算書をお持ちすると色々なお話をしてくださる方もいます。そんな患者様が笑顔で楽しそうにお話されている姿を見ると、毎日がとても忙しく、思うように仕事はかどらない中でもこの仕事をしていて良かったと感じ、逆に私の方が患者さまから元気づけられています。

これからも病棟クラークとして入院中の患者様が退院される日まで少しでも気持ちよく毎日を過ごされるよう笑顔を忘れず頑張りたいです。

その他のお知らせ

【医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。

これらの金融機関はJ-Debitに加盟していますので、キャッシュカードに自動的にデビット機能が付与されているからです。(ただし、キャッシュカードでお支払いいただいた場合は即座に口座から引き落とされることとなるため、口座に引き落とし金額以上の残高が必要ですのでご注意ください。)

このため、医療費の支払いのための現金を持たなくても、キャッシュカードさえあればお支払いが可能です。

また、引き落としの手数料は不要ですので大変便利です。是非ご利用ください。なお、合わせて一般のクレジットカードでのお支払いもできます

【やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」は、メルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページの「メールマガジン申込み」からアドレスを登録していただきますようお願いいたします。なお、ホームページの検索は、「大阪府立急性期・総合医療センター」にて可能です。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。